

神戸空港サブターミナル（仮称）整備事業  
審査講評

令和5年4月24日

神戸空港サブターミナル整備事業者選定委員会

神戸空港サブターミナル整備事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）は、神戸空港サブターミナル（仮称）整備事業（以下「本事業」という。）に関して、「神戸空港サブターミナル（仮称）整備事業 落札者決定基準（令和5年2月22日公表）」に基づき、提案内容等の審査を行いましたので、審査結果及び審査講評をここに報告します。

令和5年4月24日

神戸空港サブターミナル整備事業者選定委員会

委員長 花岡 伸也

明石 葉子

ジェイ・ケリー

清水 苗穂子

谷澤 実佐子

光 井 純

## 目次

1. 選定委員会	1
2. 審査方針	1
3. 審査結果	1
4. 審査講評	4

## 1. 選定委員会

### (1) 選定委員会の構成

選定委員会の委員は以下のとおりである。

委員長	花岡 伸也	東京工業大学環境・社会理工学院 教授
委員	明石 葉子	みなと法律事務所 弁護士
委員	ジェイ・ケリー	P&G ジャパン合同会社 人事本部長
委員	清水 苗穂子	阪南大学国際観光学部 教授
委員	谷澤 実佐子	谷澤公認会計士事務所 公認会計士
委員	光井 純	光井純アンドアソシエーツ建築設計事務所株式会社 代表取締役 ペリクラークアンドパートナーズジャパン株式会社 代表取締役

(敬称略、委員長を除き 50 音順)

また、委員会の議決事項に関し、議決権を有しない第三者として必要に応じて専門的な見地から意見を述べ、委員会審議の参考とするため、世界の空港ビル運営に知見を持つオブザーバーを招致した。

オブザーバー マチュール・ブティティ 関西エアポート株式会社 専務執行役員最高技術責任者  
(敬称略)

## 2. 審査方針

本事業の落札者の決定にあたっては、幅広い専門的な知識や技術、ノウハウが求められるため、入札参加者の資格、実績といった事業遂行能力を確認する「資格審査」と、資格審査を通過した入札参加者から提出された事業提案書の技術提案と入札価格を総合的に審査する「提案審査」によって落札者を決定する一般競争入札（総合評価落札方式）が採用されている。

なお、審査の公平性及び客観性を期すため、選定委員会では、入札参加者について、代表企業、構成企業及び協力企業の名称及びそれらを類推できるものを伏せて審査を行った。

## 3. 審査結果

### (1) 資格審査

資格審査では、入札参加者が入札に参加するにあたって備えるべき資格要件及び本事業の遂行に必要な能力があると認められるに値する実績等を有しているかどうかの審査を行った。

令和5年3月9日の提出期限までに2グループから入札参加資格審査申請書類の提出があり、入札説明書に規定する入札参加者の備えるべき参加資格要件を有していることを確認するとともに、市は、令和5年3月13日に参加資格の確認結果を通知した。また、選定委員会は確認結果通知が市により発出されたことを確認した。

## (2) 提案審査

提案審査では、全2グループの提案内容等を審査した。

### ① 技術提案に関するプレゼンテーション及びヒアリングの実施

選定委員会は、本事業の提案審査の一環として、令和5年4月24日に入札参加者による、選定委員会に対するプレゼンテーションを実施し、全2グループに対して技術提案に関するヒアリングを実施した。

### ② 技術提案審査の実施

選定委員会は、技術提案に関するプレゼンテーション及びヒアリングを実施した後、全2グループから提出された技術提案書に記載された内容について、技術提案審査の評価項目ごとに審査を行い、委員の合議により技術評価の点数（以下「技術評価点」という。）を付与した。

また、評価は「神戸空港サブターミナル（仮称）整備事業 落札者決定基準」に予め公表された以下の評価基準に基づき実施し、得点化にあたっては、小数点第2位を有効桁数とし、小数点第3位を四捨五入して算出した。ただし、技術審査項目に定める配点を合計した値の6割を最低基準点とし、その点数未満の入札参加者は失格にすることとしていた。

【表 評価ランクに基づく得点計算方法】

評価ランク		得点
A	非常に優れている	当該項目の配点×100%
B	優れている	当該項目の配点×80%
C	普通	当該項目の配点×60%
D	やや劣っている	当該項目の配点×40%
E	劣っている	当該項目の配点×20%
X	不適	当該項目の配点×0%

【全2グループの技術提案審査結果】

評価項目			配点	落札者	次順位者
全体計画	コンセプト	○基本認識 ○基本計画の実現方策 ○現行ターミナルとの連携	60点	<b>44.67点</b>	36.67点
	配置計画・ 外構計画	○ランドスケープ ○建物配置・外構動線計画 ○外構計画	60点	<b>45.33点</b>	38.00点
	意匠・景観	○外観デザイン ○内部空間デザイン ○夜間景観計画	60点	<b>46.00点</b>	39.33点
小 計			180点	<b>136.00点</b>	114.00点
施設計画	平面計画・ セキュリティ	○快適な旅の実現に向けた施設計画 ○施設内動線計画・セキュリティ計画 ○にぎわい空間の配置 ○店舗の配置計画 ○需要の変化に対応する計画	100点	<b>68.67点</b>	68.67点
	機能性・ 快適性	○展望機能の配置 ○サイン計画 ○ユニバーサルデザインに対応する方策 ○木材の利用 ○バイオフィリックデザインを取り入れる提案 ○空港のIT化への対応	120点	<b>87.33点</b>	88.00点
	環境配慮・ 省エネルギー・ カーボン ニュートラル	○省エネルギー (CASBEE 神戸 A ランク以上、ZEB Ready 以上) ○先進的、効果的な自然エネルギー及び 再生可能エネルギーの利用 ○環境配慮に関する取組みの見える化 ○ライフサイクルコストを踏まえた維持管理計画 ○施工時における環境負荷低減	100点	<b>73.33点</b>	70.67点
	広域防災・ 拠点機能	○構造計画 ○地盤変形への対策 ○BCP 対応	60点	<b>45.33点</b>	46.00点
小 計			380点	<b>274.66点</b>	273.34点
設計 ・ 施工	実施体制表・ 業務計画・ 工程管理・ コスト抑制	○実施体制 ○地元企業の活用 ○工期短縮、コスト抑制につながる技術的提案	60点	<b>46.67点</b>	41.33点
	小 計			60点	<b>46.67点</b>
技術評価点の合計点			620点	<b>457.33点</b>	428.67点

### (3) 価格審査

全2グループが提示した入札価格について、「神戸空港サブターミナル（仮称）整備事業 落札者決定基準」に予め公表された以下の算式により市が得点化を行い、価格評価点として得点を付与した。

$$\text{価格評価点} = (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格}) \times \text{価格評価点の配点 (80点)} + 50 \text{点}$$

※ただし、80点を超える場合は、80点を上限とする。

#### 【全2グループの価格審査結果】

	落札者	次順位者
入札価格（税込価格）	8,998,000,000円	8,998,000,000円
価格点	50.02点	50.02点

### (4) 総合評価

技術評価点と価格評価点を合算し、全2グループの総合評価点を以下のとおり算出した。総合評価の結果を踏まえて、選定委員会は、本事業を実施する落札者を選定した。

#### 【全2グループの総合評価結果】

	落札者	次順位者
技術評価点	457.33点	428.67点
価格評価点	50.02点	50.02点
総合評価点	507.35点	478.69点

#### 【落札者】

応募グループ名	竹中工務店・湊建設工業・TC神鋼不動産建設・梓設計グループ
代表企業	株式会社竹中工務店 神戸支店
構成企業	湊建設工業株式会社 TC神鋼不動産建設株式会社 株式会社梓設計 関西支社

#### 次順位者

グループ名：大林・明和・大建特定共同企業体

代表企業： 株式会社大林組 神戸支店

構成企業： 株式会社明和工務店

株式会社大建設計 大阪事務所

## 4. 審査講評

新たなステージに進む神戸空港が、神戸経済の成長を担う観点から果たす役割は大きく、2025年大阪・関西万博、その先の航空需要の拡大を見据え、神戸空港の価値を向上させ、将来の神戸のまちの成長・発展につながる取り組みを進める必要がある。本事業は、令和7年の国際チャーター便の運用開始・国内線発着枠の拡大に向け、新たな神戸の空の玄関口にふさわしい国内・国際一体型のターミナル施設の整備を行うものである。このため、提案にあたっては、本事業の特性を十分に理解した上で、事業者の高度な技術力やノウハウを十分に活用し、質の高い提案内容が期待されたところである。

本事業への参加全2グループからの提案は、どちらも事業者の高度な技術力やノウハウを十分に活用し、質の高い、意欲的なものであった。応募グループの皆様の積極的かつ真摯な提案姿勢に対して、選定委員会として敬意を表したい。

提案内容について技術提案審査の結果、「神戸空港サブターミナル（仮称）整備事業」の落札者として、「竹中工務店・湊建設工業・TC神鋼不動産建設・梓設計グループ」を選定した。以下に選定理由を示す。

### （1）全体計画に関する評価

- ・限られた予算のなかで、全体的にシンプルな計画が検討されており、コスト面で効率が良い提案となっている。
- ・主要機能を1階に集約した一層式での提案は旅客の階層移動が少なく、また、コンパクトな計画を実現しており評価できる。
- ・出発・到着ロビーが吹き抜け空間となっており、ランドスケープとの一体感が期待できる。また、開放感があり、自然光を取り入れている点が評価できる。
- ・ランドスケープを前景にした温かみのある夜景の表情が印象的である。
- ・車両のアクセスを北側に集約して配置することで、歩行者と車両が交錯することなく安全に移動できる提案となっている。

### （2）施設計画に関する評価

- ・効率的な平面計画により、スペースと人材を有効活用する試みがあった点が評価できる。
- ・施設の主入口に吹き抜け空間等が計画されており、今後詳細の検討をする際に、神戸の特色が出せる可能性を持っている。
- ・六甲山と海を望む展望デッキが適切に検討されていた。
- ・国際線と国内線の出発のバゲージハンドリングシステムが共用できるプランであり効率が良い。

### （3）設計・施工に関する評価

- ・設計の実績があり、施工後のアフターメンテナンスも考えられており、体制がしっかりしている。
- ・地元企業への配慮がなされており、具体的な企業名が多数挙げられている点や、工期やコストも順当に検討されており評価できる。



## 5. 付帯意見

今後の本事業の実施に当たっては、提案内容の熟度を高めながら、円滑な事業の実現に向けて市の意向を最大限尊重しながら、以下の諸点について取り組んでいただくよう、委員会として付帯意見を付す。

### (1) 外観に関すること

- ・外観デザインは神戸のアイデンティティが感じられる工夫をいただきたい。

### (2) 施設計画に関すること

- ・国際線の搭乗待合室の自然光の積極的な取入れ、木材の利用やバイオフィリックデザインのより効果的な取入れを検討いただきたい。
- ・ユニバーサルデザインを考慮した建築計画・サイン計画を検討いただきたい。
- ・サービス機器（両替機、ロッカー等）、国際線のラウンジ、休憩所、こども連れの方が利用できる場所等の追加を検討いただきたい。
- ・国際線、国内線のランプバス乗り場が近接しすぎているので、対策を検討いただきたい。

### (3) その他

- ・集客施設としての空港のあり方、具体的なにぎわい空間を検討いただきたい。
- ・利用者目線の快適な歩行者空間による現行ターミナルとの連携を検討いただきたい。